

会 議 録

作成日 令和 7 年 3 月 31 日(月)

日	令和 7 年 3 月 25 日(火)	時間	14 : 00 ～15 : 45	場所	市役所 2 階 203・204 会議室
件 名	(議題) 第 3 次糸魚川市生涯学習推進計画 令和 6 年度実施計画の成果と課題（最終報告）について				
出 席 者	【出席委員】 17 人（敬称略） 相馬 修、青山、範夫、井崎 由紀子、渡邊 闌壽、清水 博、村井 康、 渡邊 秀幸、清水 友樹、和泉 裕一、長 砂男、田邊 和子、松本 香織、 澤口 裕宇子、矢嶋 好美、渡邊 文恵、西澤 隆、園田 和子				
	【事務局（生涯学習課）】 8 人 磯貝課長、本間課長補佐、須澤係長、作本主査、伊藤主査、滝澤主査、 小田嶋主査、大西主査、				
	傍聴者定員	5 人		傍聴者数	0 人

会議要旨

全体進行：委員長

1 開 会（14:00）

2 挨拶 事務局、委員長

3 協 議

第 3 次糸魚川市生涯学習推進計画 令和 6 年度実施計画の成果と課題（最終報告）について

（1）重点事業の進捗状況、成果、課題等の報告

事務局説明

① アオハル青春サポーターについて

【委 員】高校生へのボランティア募集の案内は、事前にチラシやポスターで案内しているか。

【事務局】各高校へ毎月チラシ等で案内している。

【委 員】青春サポーターを依頼できる条件について広く周知してほしい。また青春サポーターへの申し込みがスマートフォン等から簡単にできるよう、例えばカードサイズの大きさの申し込み QR のようなものがあればよい。生徒手帳に入れることができる。

【事務局】条件については周知を行うこととしたい。その他すぐできそうな内容のものは取り組んでいきたい。

【委 員】ボランティア証明は受験のときに実際使われているのか。

【事務局】実際に証明書が使われているところまでは確認していない。ただ、アンケートを取った結果を見るとボランティアに参加するきっかけになっている。

【委 員】令和 6 年度の参加者数が 120 人見込みだが 120 人が参加したのか、120 回なのか。

【事務局】延べ人数である。

【委員】インスタグラムは市で更新していると思うが、今後外の団体にこのインスタグラムの更新や運営をお願いするような考えがあるか教えていただきたい。

【事務局】委託も考えているが、高校生から自発的に運営を立ち上げてやってほしいという考えもある。

② ブックスタートについて

【委員】子どもたちにとって図書がある身近なところは学校図書館、幼稚園の図書である。学校や幼稚園は蔵書が少ない。学校図書館、幼稚園、教育委員会で連携しぜひ本の配置をしてほしい。

【事務局】図書の購入には予算が必要なため、意見を教育委員会で共有することとしたい。

③ Run to Surviveについて

【委員】以前開催されたバーベキューガーデンの事業と同じ団体に運営を委託しているが、これらの事業に同じ人が参加している等の動向はつかんでいるか。

【事務局】同じ人が参加しているかについては手元に資料がない。

(2) 生涯学習に関する委員の感想、意見交換

【委員】

- ・生涯学習を楽しむことは豊かな人生につながる。
- ・今回見つけた課題の検討結果を、令和10年まで続く第3次計画の中で生かしてほしい。
- ・ボランティア活動は無償ボランティアに頼りすぎている。今後は多少でも謝金を払うなど有償ボランティアとしていくべきだと思う。
- ・絵本読み聞かせ団体から本を読んでもらうと違う世界が広がる。
- ・生涯学習事業の周知は頑張っているが、参加者は増えていないのが今後の課題だと思う。
- ・市が行っている生涯学習事業をよく知らなかった。市と公民館の連携は大事である。
- ・高齢者が喜んで参加できる活動が少なく感じる。
- ・いのちの話は聞くだけではなく、参加者が発言する機会もあってよかった。しかし参加者が少なかった。情報メールだけでは周知は足りない。他の手段も考えてほしい。
- ・新型コロナウイルス感染症を機にPTA活動が減った。そのため普段行っていない活動を行おうとするとそれができる大人がいなくなった。経験豊富な大人を育てるということは生涯学習推進計画とリンクしていると思う。
- ・スポレックは糸魚川発祥スポーツだが、子供たちの参加が少ない。総合型スポーツクラブで支援してほしい。もっと外へ広めてほしい。
- ・子どもの健やかな成長には食育が大切である。
- ・法定の図書館協議会を設置すべきである。
- ・公民館ボランティアに参加したら、謝礼を翠ペイで支払うのはどうか。
- ・学校から保護者へLEBER（リーバー：市内小・中学校の保護者への配信ツール）で様々な生涯学習事業の開催などを周知しているが、市の公式ラインでも周知できないか。
- ・キッズフェスタの職業体験では、子どもたちは自分の興味がある職業体験に進んで参加していた。子どもたちが興味を持ったことに対して、さらに理解を深めるように支援するこ

とが大人の役割だと思う。

- ・市の委託事業は委託を受けた団体が成長できる場である。委託事業の成果は参加人数が判断基準となっているように感じる。委託を受けた団体がどれだけ成長したかということも委託事業の成果の判断基準としてほしい。

今の 20～30 代の人たちを積極的に動かすには、こちらからアクションをかけることが必要である。

- ・小学校では総合学習の時間があるので生涯学習へつなげてほしい。またジオパーク学習も全小中学校で実施してほしい。
- ・16 歳以上のひきこもり対策を検討してほしい。

【委員長】本日は各委員から貴重な意見をいただいた。意見の中には難しい課題もあるが、行政の責任で課題の解決に努めてほしい。

4 その他

【委員】学校の課外活動等で使用していたバスがあまり使えなくなったとの学校からの声がある。学校の活動などで使える機会を増やしてほしい。

上越地区社会教育委員連絡協議会の会計監査方法について検討をお願いしたい。

5 閉 会（15：45）